

- 06-3 FSL-FIRSTを用いた、片頭痛発作頻度と皮質下構造物容積の関連性の検討
Volumetric analysis of subcortical structures in relation to migraine frequency using FSL-FIRST

JCHO東京新宿メディカルセンター 神経内科¹⁾、

帝京大学医学部附属溝口病院 神経内科²⁾、

横浜市立大学医学部 神経内科・脳卒中医学³⁾

○黒川 隆史¹⁾、藤野 公裕²⁾、黒岩 義之²⁾、馬場 泰尚²⁾、田中 章景³⁾

- 06-4 前兆のある片頭痛に対する Arterial Spin Labeled MRI：頭痛外来における経験
Arterial Spin Labeled MRI findings in migraine with aura: experience in a headache-clinic
たかせクリニック 脳神経外科

○高瀬 卓志

- 06-5 一次性頭痛に対する鍼治療の効果 安静時機能的MRIを用いた検討
The change of functional connectivity by acupuncture for the patients with primary headache: resting state functional MRI study

筑波大学大学院 人間総合科学研究科 疾患制御医学専攻¹⁾、

筑波大学附属病院水戸地域医療教育センター / 水戸協同病院 / 脳神経外科 / 頭痛外来²⁾、

筑波大学医学医療系脳神経外科³⁾、茨城県立医療大学付属病院神経内科⁴⁾、

筑波技術大学保健科学部保健学科⁵⁾

○石山すみれ¹⁾、柴田 靖^{2,3)}、松下 明⁴⁾、鮎澤 聡⁵⁾、松村 明³⁾

- O6-3 FSL-FIRSTを用いた、片頭痛発作頻度と皮質下構造物容積の関連性の検討
Volumetric analysis of subcortical structures in relation to migraine frequency using FSL-FIRST

JCHO東京新宿メディカルセンター 神経内科¹⁾、

帝京大学医学部附属溝口病院 神経内科²⁾、

横浜市立大学医学部 神経内科・脳卒中医学³⁾

○黒川 隆史¹⁾、藤野 公裕²⁾、黒岩 義之²⁾、馬場 泰尚²⁾、田中 章景³⁾

- O6-4 前兆のある片頭痛に対する Arterial Spin Labeled MRI：頭痛外来における経験
Arterial Spin Labeled MRI findings in migraine with aura: experience in a headache-clinic
たかせクリニック 脳神経外科

○高瀬 卓志

- O6-5 一次性頭痛に対する鍼治療の効果 安静時機能的MRIを用いた検討
The change of functional connectivity by acupuncture for the patients with primary headache: resting state functional MRI study

筑波大学大学院 人間総合科学研究科 疾患制御医学専攻¹⁾、

筑波大学附属病院水戸地域医療教育センター / 水戸協同病院 / 脳神経外科 / 頭痛外来²⁾、

筑波大学医学医療系脳神経外科³⁾、茨城県立医療大学付属病院神経内科⁴⁾、

筑波技術大学保健科学部保健学科⁵⁾

○石山すみれ¹⁾、柴田 靖^{2,3)}、松下 明⁴⁾、鮎澤 聡⁵⁾、松村 明³⁾

病院の実力「慢性頭痛」
医療機関別2014年治療実績
(読売新聞調べ)

医療機関名	片頭痛と診断された患者数(人)	緊張型頭痛と診断された患者数(人)	群発頭痛と診断された患者数(人)	理学療法(実施は○)
大阪府				
富永	1100	900	55	○
めぐみク	740	180	16	○
たかセク	716	1293	46	
近畿大	260	110	9	
中野脳神経外科ク	218	1050	1	○
高槻	206	247	8	○
なかつ神経内科ク	201	101	10	
東大阪市立総合	190	90	5	
山本第三	171	34	10	
馬場記念	168	17	7	
たかせ内科医院	152	27	12	
府立急性期・総合医療セ	129	655	2	○
済生会中津	123	35	10	○
関西電力	122	433	4	○
大阪医大	115	105	1	○
関西医大枚方	83	272	18	○
市立豊中	80	224	5	
高橋西梅田ク	70	183	20	
城山	65	316	4	○
良田医院	55	400	3	○
千船	46	7	1	○
大阪市立総合医療セ	15	10	0	

「セ」はセンター、「ク」はクリニック。

*全国の調査結果は「くらし健康面」に掲載しています。

原因不明の頭痛が続く場合、慢性頭痛と呼ばれる。一覧表には、代表的な片頭痛、緊張型頭痛、群発頭痛と診断された2014年の新規患者数と、理学療法を取り入れているかを掲載した。片頭痛は、こめかみから目にかけて片側または両側が脈を打つように「ズキンズキン」と痛む。頭痛の起きる頻度は週1～月1回程度で、痛みは4～72時間継続し、吐き気や嘔吐を伴うことが多い。

治療は頭痛を予防する薬のほか、痛みを和らげる効果が高い「トリプタン」などを服用するのが基本だ。規則正しい生活や適度な運動など生活習慣の見直しも

理学療法併用で緩和も

睡眠・姿勢 正して軽減

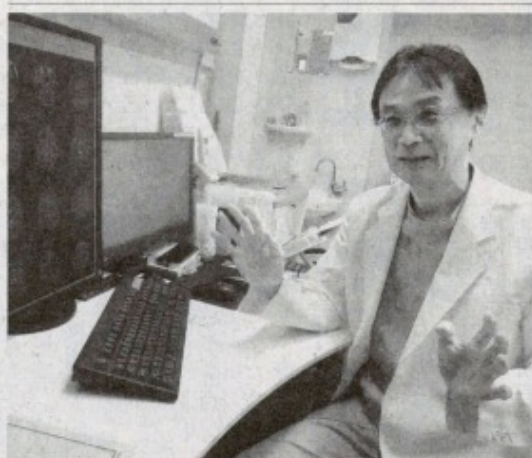
慢性頭痛

病院の実力

*大阪編 94

今回の病院の実力は「慢性頭痛」を取り上げた。頭痛の種類によって効果的な対処法が異なるので、詳しい医師に診てもらい、診断を受けるのが望ましい。「頭痛外来」がある「たかセクリニック」(大阪市港区)の高瀬卓志院長に、主な慢性頭痛について聞いた。(竹内芳朗)

頭痛にはどんな種類がありますか
頭痛の中には、くも膜下出血や脳腫瘍など命を脅かす「怖い頭痛」もありますが、大半は、命にかかわらない「怖くない頭痛」です。「慢性頭痛」と呼ばれ、片頭痛、緊張型頭痛、群発頭痛などがあります。



「慢性頭痛はストレスも関係していることが多い。できるだけストレスを和らげる工夫も大切です」と話す高瀬さん(大阪市港区で)

たかセクリニック 高瀬 卓志院長

片頭痛はどう治療するのですか
内服薬の「トリプタン」などの痛みを抑える薬の服用が中心です。ただし、使いすぎると悪化することもあるので、まずは医師の診断や指導を受けてください。睡眠時間が不規則だと悪化しやすいので、休日「寝だめ」などせず、毎日、規則正しく睡眠を取るようにしませう。光や音、食べ物、気候変化などで頭痛が誘発される場合もあります。誘因となる刺激は、できれば避ける方がいいでしょう。

緊張型頭痛はどうでしょうか
肩こりが引き金になることが多いので、こりを改善する薬やマッサージなどが有効です。適度に運動することや、姿勢を正すことも大切です。
群発頭痛は特に痛いそうですね
その通りです。患者さんは「じっとしてられないほどの痛みだ」と言います。治療は、片頭痛と同様、痛みを抑える薬の服用が中心です。症状がひどい場合は、即効性の高い注射薬を使う場合もあります。
「怖い頭痛」についても教えてください
例えば、くも膜下出血による頭痛は「今まで経験したことがない激しい痛み」が特徴です。ガンとする衝撃感、気が遠くなる感じ、めまい感などの異変が、いきなり起こります。そのような症状が出ればすぐに救急車を呼ぶなどして受診してください。

7:04

簡単に分かる! 脳腫瘍のサイン

危ない頭痛

いつもと違う痛み 50歳を過ぎて初めての頭痛

+ 頭痛に加えて

- ▲ めまいや手足のしびれ
- ▲ モノが二重に見えるなど視界の異変
- ▲ 物忘れが激しくなる、性格が変わる

時間が経つごとに悪化していく場合 注意

週末チェック

こんな症状に注意!
脳腫瘍の特徴

8:59

1つの可能性として…

かすいたいせい

“下垂体性巨人症”

の疑いがある



たかせクリニック

高瀬卓志医師



夢は“スーパーモデル”

身長2m6cmの美少女

9:00

1つの可能性として…

かすいたいせい

“下垂体性巨人症”

の疑いがある



たかせクリニック

高瀬卓志医師



夢は“スーパーモデル”

身長2m6cmの美少女